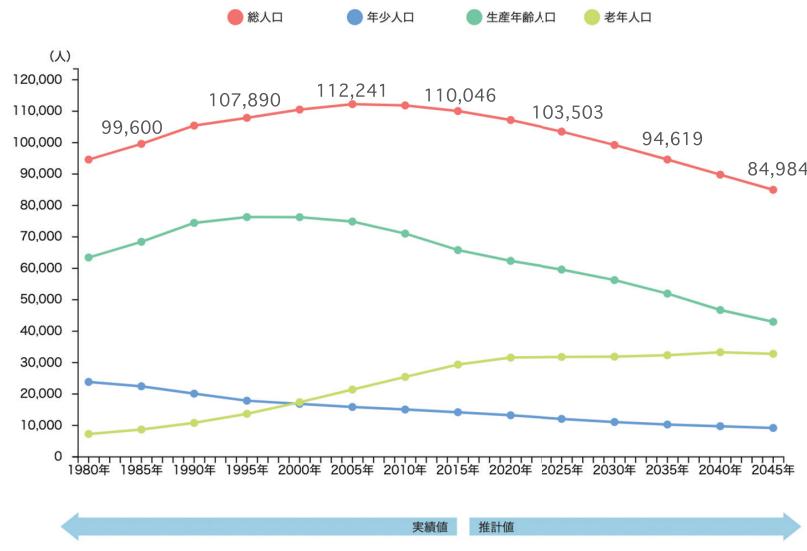


RESAS を分析してみよう

静岡県
三島市

人口



* 人口マップ→人口構成→人口推移

人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。老年人口の割合をみると、2015年の26.7%から2045年には38.6%まで上昇。一方、生産年齢人口は2015年の59.8%から2045年には50.6%まで低下する見込みとなっている。消費の縮小や労働力不足が予測される。

* 人口マップ→人口構成→人口ピラミッド

RESAS（地域経済分析システム）は、地域経済に関する様々なデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）をグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

<https://resas.go.jp>

RESAS

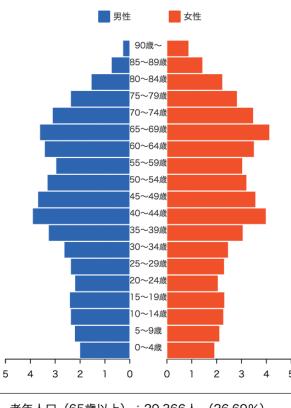


年齢別人口推移

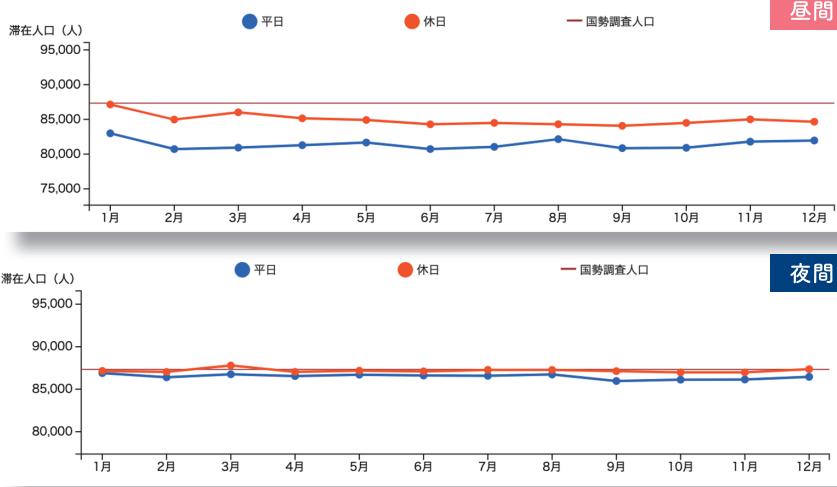
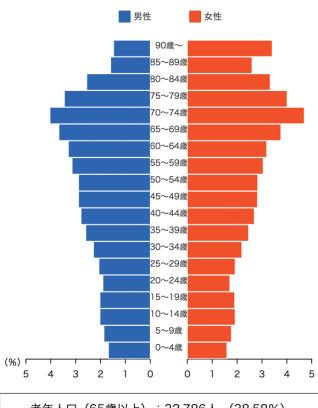
2015年の人口は110,046人。10年前（2005年）の112,241人と比較して2.0%減少している。将来人口の推移を年齢別にみると、①年少人口や生産年齢人口は減少傾向、②老年人口は増加傾向で推移する見込みである。事業者は、人口減少・少子高齢化の進行に対応したビジネスモデルの再構築が必要といえる。

※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15～64歳、老年人口は65歳以上をさす

2015年



2045年



* まちづくりマップ→滞在人口率

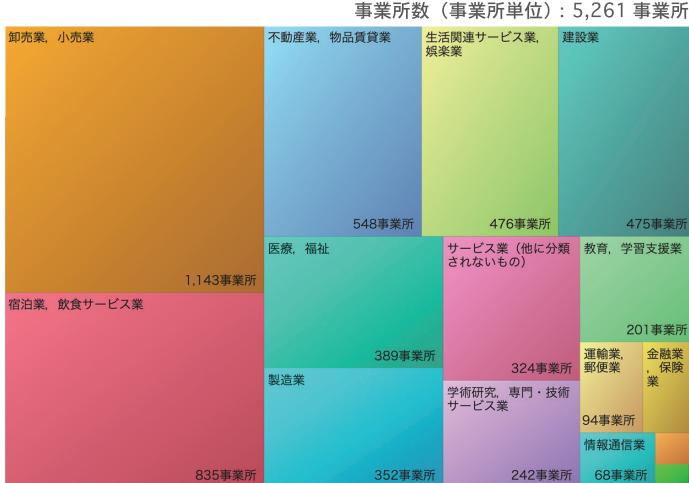
滞在人口 (2020年、上：昼間、下：夜間)

昼間人口と夜間人口を月ごとに比較したグラフである。夜間人口の方が昼間人口より多いことから、他の市町村への通勤・通学者数（流出人口）が他の市町村からの通勤・通学者数（流入人口）よりも多いといえる。

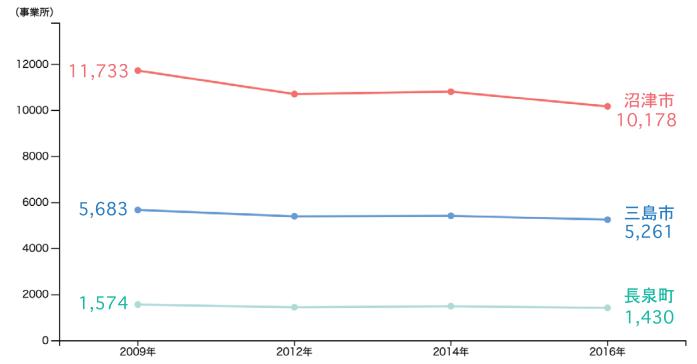
※昼間は14時、夜間は20時のデータを掲載している

産業構造

対象地域：三島市
比較地域：沼津市、長泉町



* 左：産業構造マップ→全産業→全産業の構造
* 右：産業構造マップ→全産業→事業所数



事業所数（事業所単位）大分類（2016年）

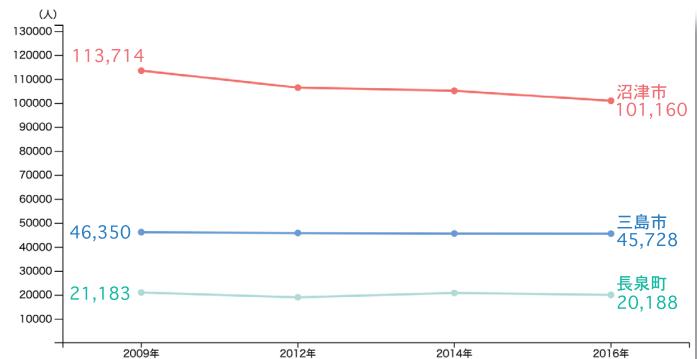
業種ごとの事業所数を面の大きさで示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」の1,143事業所で、全体の21.7%を占めている。その後、「宿泊業、飲食サービス業」の835事業所、「不動産業、物品賃貸業」の548事業所が続く。



従業者数の推移

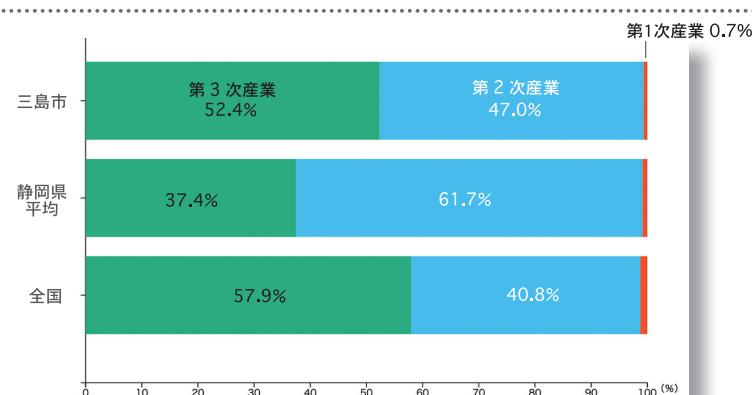
事業所数の推移をみる。2016年の事業所数は5,261事業所。7年前の2009年と比較すると7.4%減である。他地域をみると、沼津市は13.3%減、長泉町は9.1%減となっている。

* 左：産業構造マップ→全産業→全産業の構造
* 右：産業構造マップ→全産業→従業者数（事業所単位）



従業者数の推移

従業者数の推移をみる。2016年の従業者数は45,728人。7年前の2009年と比較すると1.3%減である。他地域をみると、沼津市は11.0%減、長泉町は4.7%減となっている。

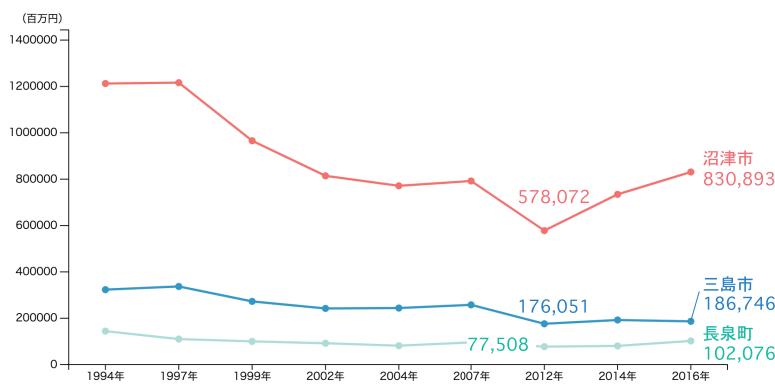


* 地域経済循環マップ→生産分析

地域内産業の構成割合

三島市の産業の構成割合を全国および静岡県と比較したグラフである。三島市は、第3次産業が52.4%ともっと高く、第2次産業の47.0%が続いている。静岡県の傾向と異なる。

小売業・卸売業



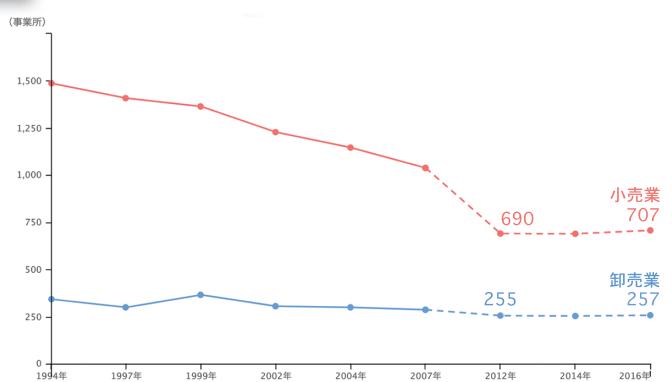
* 産業構造マップ→小売・卸売業→年間商品販売額

年間商品販売額の推移

小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。三島市の販売額は1,867億円。4年前の2012年と比較すると6.1%増である。他地域をみると、沼津市は43.7%増、長泉町は31.7%増となっている。

事業所数（小売業・卸売業）の推移

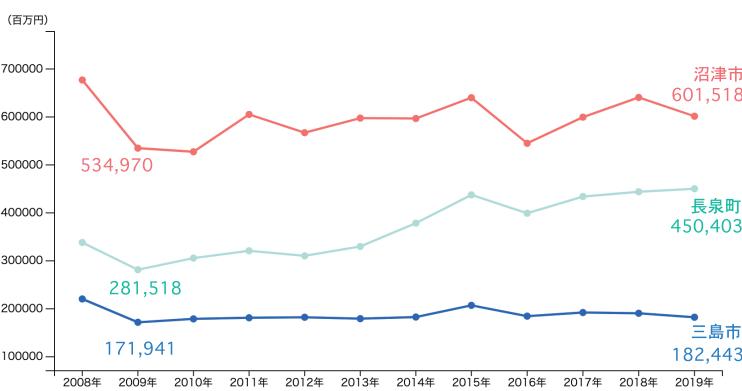
小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2016年の事業所数は小売業707事業所、卸売業257事業所。4年前の2012年と比較すると小売業は2.5%増、卸売業は0.8%増となっている。



* 産業構造マップ→小売・卸売業→商業の構造

* グラフ上の破線は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサー活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示している。

製造業

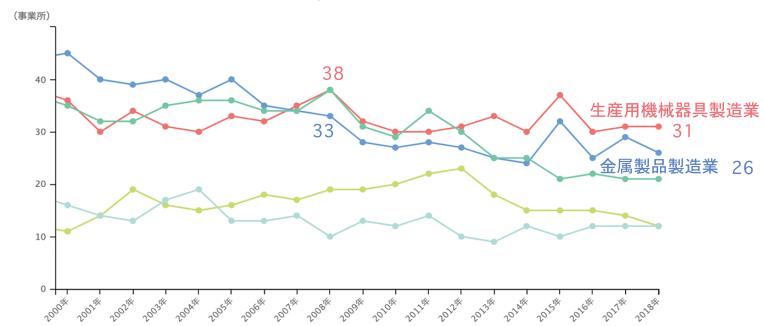


* 産業構造マップ→製造業→製造品出荷額等

製造品出荷額等の推移

製造業の製造品出荷額等の推移を示したグラフである。三島市の出荷額等は1,824億円。10年前の2009年と比較すると6.1%増である。他地域をみると、沼津市は12.4%増、長泉町は60.0%増となっている。

● 生産用機械器具製造業 ● 金属製品製造業 ● 食料品製造業 ● 輸送用機械器具製造業 ● はん用機械器具製造業



* 産業構造マップ→製造業→製造業の構造

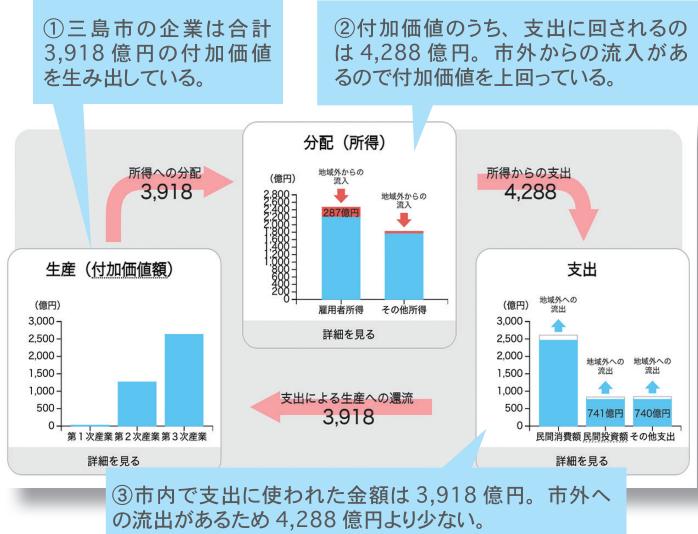
事業所数（主要製造業）の推移

主要製造業の事業所数の推移を示したグラフである。三島市には、①生産用機械器具製造業、②金属製品製造業が多い。10年前の2008年と比べると、いずれも事業所数が減少している。

地域経済循環

地域経済循環図（2015年）

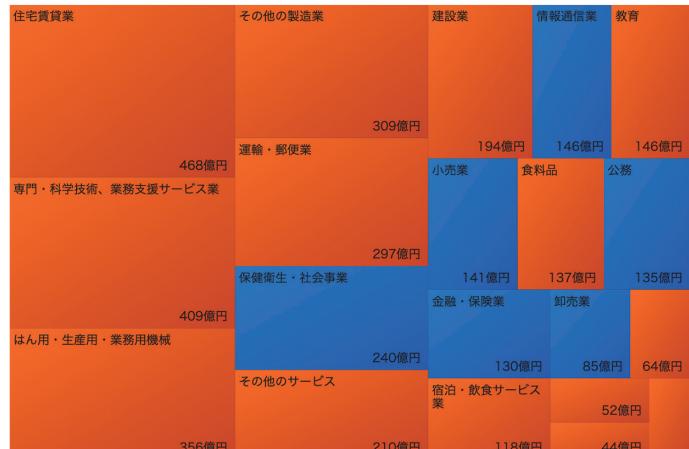
地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したもののが地域経済循環図である。



* 地域経済循環マップ→地域経済循環図

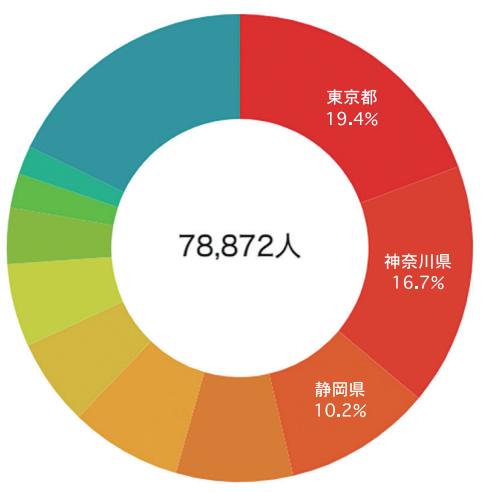
生産分析（2015年）

左図の「生産（付加価値額）」の内訳を面の大きさで示したグラフである。付加価値額が高いのは「住宅賃貸業」「専門・科学技術、業務支援サービス業」「はん用・生産用・業務用機械」である。なお、グラフの色は、地域外から稼いでいる産業（赤色）と地域外から必要としているものを調達している産業（青色）を表している。



* 地域経済循環マップ→生産分析

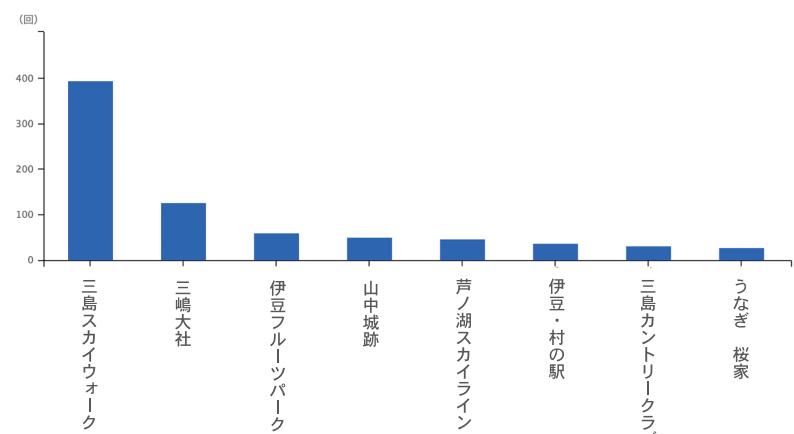
観光



* 観光マップ→From-to分析（宿泊者）

From-to分析（宿泊者）(2020年)

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合を示したグラフである。東京都が19.4%ともっとも多く、神奈川県の16.7%が続く。



* 観光マップ→目的地分析

目的地検索ランキング (2020年3月・休日)

カーナビで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「三島スカイウォーク」「三嶋大社」「伊豆フルーツパーク」の検索回数が多くなっている。

